

# ビーム物理研究会・若手の会

<http://beam-physics.kek.jp/bpc/wakate/wakate/>, [beam.youth.sec@gmail.com](mailto:beam.youth.sec@gmail.com)

## 【構成メンバー、人数】

ビーム物理学に関わる若手研究者・技術者、大学院生、学生らで構成  
人数：10名（幹事会メンバーのみ、2017年度）

## 【代表者】

氏名：原田寛之、所属：日本原子力研究開発機構 J-PARC センター、職位：副主任研究員

## 【学術分野】 「理学・工学」

## 【関連のある学協会名】

ビーム物理研究会、日本物理学会ビーム物理領域、日本加速器学会、レーザー学会

## 【設立の経緯】

- 2016年10月 日本学術会議 若手科学者ネットワークから登録依頼
- 2016年11月 若手の会設立に関して有志数名で議論。ビーム物理研究会会長に相談
- 2017年03月 日本物理学会第72回年次大会インフォーマルミーティングで「組織化提案」
- 2017年03月 若手科学者ネットワークへ登録、実質的な活動開始
- 2017年08月 日本加速器学会第14回年会インフォーマルミーティングで「組織化承認」
- 2018年01月 ビーム物理研究会・若手の会メーリングリストを作成
- 2018年02月 ビーム物理研究会・若手の会 会則を作成
- 2018年03月 日本物理学会第73回年次大会インフォーマルミーティングで「設立承認」

## 【ミッション】

ビーム物理は、粒子加速器におけるビーム力学的物性研究を内に含み、ビーム・プラズマ相互作用、ビーム・レーザー相互作用、非中性プラズマ、光子ビーム、イオントラップなどの多様な分野を統合する概念である。様々なビームは、物理学のみならず医学、薬学、工学の学術的研究に加えて、エネルギー、産業利用等の幅広い分野の研究基盤として利用されている。ビーム物理学が支える科学技術の発展を目指し、次世代を担う若手研究者の交流を活発化させることが「ビーム物理研究会・若手の会」のミッションである。

## 【活動内容】

- ①「第2回若手科学者サミット」への参加とポスター発表

日時：2017年6月2日

会場：日本学術会議 講堂

主催：日本学術会議 若手アカデミー 若手科学者ネットワーク分科会

② 研究会「ビーム物理研究会・若手の会 2017」の開催

合同研究会：分子研研究会「量子ビームの物質生命科学への応用の新展開」

会期：2017年11月16日～18日（内、若手の会：17日夕方～18日）

会場：自然科学研究機構 岡崎コンファレンスセンター

主催：分子科学研究所

共催：ビーム物理研究会、名古屋大学シンクロトン光研究センター

協賛：加速器学会

講演数：招待講演5件、一般口頭発表16件、若手口頭発表20件

参加数：53名（内、若手の会：40名）

備考：若手研究者や学生の研究意欲を高め、研究者・社会人としての自立と発展を支援することを目的とし「若手発表賞」を新たに設けた。

③「ビーム物理研究会・若手の会」の組織化の承認

日時：2017年8月3日

会場：北海道大学 クラーク会館

会議名：日本加速器学会第14回年会インフォーマルミーティング

参加者数：23名

④「ビーム物理研究会・若手の会」の設立の承認

日時：2018年3月23日

会場：東京理科大学 野田キャンパス

会議名：日本物理学会第73回年次大会インフォーマルミーティング

**【課題】**

①「ビーム物理研究会・若手の会」設立後の運営

②「ビーム物理研究会・若手の会」組織の強化

③ 関連する学協会との連携

**【若手科学者ネットワークを通じてうまれた活動】**

①「ビーム物理研究会・若手の会」の設立

② 日本学術会議 若手アカデミーとの交流や意見交換

③ 若手科学者サミットへの参加による他分野の若手科学者との交流や意見交換

④ 所轄省庁の関係者との交流や意見交換